中小企業景況調査報告書(愛知県概略版)

(2025年4月~6月期実績、2025年7月~9月期見通し)

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体は売上額DI・採算DIが悪化、資金繰りDIが低下

今期の産業全体の景況は、売上額D I が \triangle 1 2. 4、採算D I が \triangle 2 8. 3となり、対前期比でそれぞれ11. 3ポイント、12. 1ポイント悪化し、資金繰りD I は \triangle 2 0. 2となり対前期比で6. 9ポイント低下となった。

次期は、すべての指標とも好転する見通しである。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額D I \triangle 12.4(対前期比 \triangle 11.3 悪化) 次期予想 \triangle 10.7(対前期比 1.7 好転)

・採 算DI $\triangle 28.3$ (対前期比 $\triangle 12.1$ 悪化) 次期予想 $\triangle 21.5$ (対前期比 6.8 好転)

・資金繰りDI △20.2 (対前期比 △ 6.9 低下) 次期予想 △14.2 (対前期比 6.0 好転)

産業全体景況天気

時 期	ਤੌ	売上額D I		採算D I			資金繰りD I	
2024年7月~9月		△5.6	P	△22. 7	\	Ą	△7. 5	1
2024年10月~12月	4	△8.9	₽	△22. 4	\sum	क्री	△10. 0	1
2025年1月~3月	2	△1.1	Q	△16. 2	\square	Ą	△13. 3	1
2025年4月~6月		△12.4		△28. 3	\	ð	△20. 2	1
2025年7月~9月 (見通し)	Q	△10.7	2	△21.5	\square	ĄĴ	△14. 2	\Box

2 業種別景況

(1)製造業

製造業は売上額DI・採算DIが悪化、資金繰りDIが低下

今期の産業全体の景況は、売上額D I が \triangle 18.9、採算D I が \triangle 37.8となり、対前期比でそれぞれ24.3ポイント、29.5ポイント悪化し、資金繰りD I は \triangle 35.1となり対前期比で27.0ポイント低下となった。

次期は、すべての指標とも好転する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額D I △18.9 (対前期比 △24.3 悪化) 次期予想 △16.2 (対前期比 2.7 好転)
 ・採 算D I △37.8 (対前期比 △29.5 悪化) 次期予想 △24.3 (対前期比 13.5 好転)
 ・資金繰りD I △35.1 (対前期比 △27.0 低下) 次期予想 △16.2 (対前期比 18.9 好転)

製造業景況天気図

時	期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I				
2024年7月~9	9月	4	△25. 0	^	2	△34. 3	^	4	△25. 0	>
2024年10月~1	12月		△10.8	\square	ð	△24. 3	∇	Ą	△5. 4	\sum
2025年1月~3	3月		5. 4	\searrow	Ą	△8.3	\searrow	\emptyset	△8. 1	\
2025年4月~6	6月	2	△18. 9	^	ð	△37.8	>	ð	△35. 1	\
2025年7月~9(見通し)	9月	ර ු	△16. 2	\searrow	2	△24. 3	\sum	Ą	△16. 2	\square

(2)建設業

建設業は売上額DI・採算DIが悪化、資金繰りDIが好転

建設業では、売上額D I が \triangle 4. 3、採算D I が \triangle 13. 0 となり、対前期比でそれぞれ 4. 3ポイント、1. 0ポイント悪化したが、資金繰りD I は 0. 0 となり、対前期比で 12. 0ポイント好転となった。

次期は、売上額DI・採算DIが好転、資金繰りDIが上昇する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI △ 4.3 (対前期比 △4.3 悪化) 次期予想 8.7 (対前期比 13.0 好転)
 ・採 算DI △13.0 (対前期比 △1.0 悪化) 次期予想 △4.4 (対前期比 8.6 好転)
 ・資金繰りDI 0.0 (対前期比 12.0 好転) 次期予想 8.7 (対前期比 8.7 上昇)

建設業景況天気図

時期		売上額D I		採算D I			資金繰りDI		
2024年7月~9	 	2	△23. 8	1	Ą	△9. 5	\nearrow	Q	△4.8
2024年10月~12	月(2	△32. 0	1	की	△28. 0	1	ĄĴ	△12.0
2025年1月~3。			0.0	\leq	Ŋ	△12. 0	\searrow	Ŋ	△12.0 📥
2025年4月~6		A)	△4.3		(J)	△13. 0	1	β	0.0
2025年7月~9/(見通し)	月 (Q	8. 7	\sum	Q	△4. 4	\searrow	Q	8.7

(3) 小売業

小売業はすべての指標で悪化

小売業では、売上額DIが \triangle 29.8、採算DIは \triangle 31.9、資金繰りDIが \triangle 21.2 となり、対前期比でそれぞれ32.0ポイント、16.7ポイント、8.1ポイント悪化した。

次期は、すべての指標とも好転する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額D I \triangle 29.8 (対前期比 \triangle 32.0 悪化) 次期予想 \triangle 21.8 (対前期比 8.0 好転)

・採 算DI △31.9 (対前期比 △16.7 悪化) 次期予想 △26.1 (対前期比 5.8 好転)

・資金繰りDI △21.2 (対前期比 △8.1 悪化) 次期予想 △19.6 (対前期比 1.6 好転)

小売業景況天気図

時	期	売上額D I		採算D I			資金繰りD I			
2024年7月~	~9 月	ك	△7. 3	1	ð	△29. 2	1	A)	△2. 4	\sum
2024年10月~	~12月	2	△21. 7	•	4	△24. 0	\sum	H	△17. 4	*
2025年1月~	~3 月		2. 2	\sum	H	△15. 2	\sum	A	△13. 1	\sum
2025年4月~	~6 月	2	△29.8	1	A)	△31. 9	1	A)	△21. 2	1
2025 年 7 月~ (見通し)		4	△21.8	\sum	ð	△26. 1	\sum	ð	△19. 6	\sum

(4) サービス業

サービス業は売上額DΙが好転、採算DΙ・資金繰りDΙが低下

サービス業では、売上額D I が 0.0 となり、対前期比で 7.0 ポイント好転、採算D I が \triangle 25.7、資金繰りD I が \triangle 18.3 となり、対前期比でそれぞれ 3.4 ポイント、1.6 ポイント低下した。

次期は、売上額DIが悪化、採算DI・資金繰りDIが好転する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額D I 0.0 (対前期比 7.0 好転) 次期予想 \triangle 7.1 (対前期比 \triangle 7.1 悪化) ・採 算D I \triangle 25.7 (対前期比 \triangle 3.4 低下) 次期予想 \triangle 22.5 (対前期比 3.2 好転)

・資金繰りDI \triangle 18.3(対前期比 \triangle 1.6 低下) 次期予想 \triangle 16.9(対前期比 1.4 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売	売上額D I		采算D I	資金	資金繰りD I	
2024年7月~9月	2	10.8	ك	△16.9	Q	△3.0 🔦	
2024年10月~12月	-	8.4		△18.3		△6.9	
2025年1月~3月	2	△7.0	2	△22.3	2	△16.7	
2025年4月~6月	2	0.0	2	△25. 7	2	△18.3	
2025 年 7 月~9 月 (見通し)	2	△7.1	2	△22.5	2	△16.9 💹	

3 設備投資の状況

		今期実施	来期計画			
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容		
製 造 業	10.8%	生産設備、車両運搬具 OA機器、その他	10.8%	工場建物、生産設備車両運搬具、付帯施設		
建設業	21.7%	建設機械、車両運搬具 OA機器	4.0%	車両運搬具		
小 売 業	12.8%	店舗、販売設備 車両運搬具、付帯施設	6.4%	店舗、販売設備その他		
サービス業	12.7%	建物、サービス設備 車両運搬具、OA機器 その他	15.5%	建物、サービス設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器		

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
	1位	需要の停滞	26.7%
製造業 2位	2位	原材料価格の上昇	16.7%
	3位	生産設備の不足・老朽化	13.3%
	1位	材料価格の上昇	38.9%
建設業	2位	従業員の確保難	22. 2%
	3位	下請業者の確保難	16.7%
	1位	仕入単価の上昇	25.6%
小 売 業	2位	消費者ニーズの変化	23.1%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	10.3%
	1位	材料等仕入単価の上昇	37.5%
サービス業	2位	店舗施設の狭隘・老朽化	16.1%
	3位	需要の停滞	12.5%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2025年4月から6月までの第1四半期を対象とし、調査時点は2025年6月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳:製造業37企業、建設業23企業、小売業47企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、 好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

デ 雨	全 曇	→ 薄曇	時和	人 快晴
△100.0∼△60.1	△ 60.0~△20.1	△ 20.0~20.0	20.1~60.0	60.1~100.0

令和 7年 9月10日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL: 052-562-0041